

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

| | | | |
|--|----------------------|------|-------|
| 大 学 名 | 聖路加看護大学 | 整理番号 | F - 1 |
| 拠点のプログラム名称 | 市民主導型の健康生成をめざす看護形成拠点 | | |
| 中核となる専攻等名 | 看護学研究科看護学専攻 | | |
| 事業推進担当者 | (リダー)小松 浩子 外14名 | | |
| <p>(拠点形成の概要)</p> <p>豊かさの水面下に広がる生活環境の劣化や現代社会構造のひずみから生じる健康問題は、ますます複雑化・多様化してきた。社会情勢や個々人の生活、価値観が絡まる健康問題解決の鍵は、人々がいかに自分の健康に関心を寄せ、自ら健康を守り創っていくかにかかっている。本拠点の目的は、市民とのパートナーシップにより市民主導型の健康生成を促進する看護学(People-Centered Care)を創生することにある。そのために、市民主導型の健康生成を促進する看護実践モデルを開発し、モデル開発により得られたエビデンスを市民や専門職者が有効に活用できる健康情報コンテンツとして集積・発信するとともに、遠隔学習情報システム(e-learning)として相互交信し、市民や専門職者の活用・評価を経てPeople-Centered Careのさらなる拡充と洗練を図る。このような看護実践科学の有機的な連関は、当大学における看護学研究科、看護実践開発研究センター、WHOセンターとの組織的連動を基盤に、WHOグローバルネットワーク等との世界的レベルでのコラボレーション・リサーチを行うことにより実現される。</p> | | | |
| <p>(採択理由)</p> <p>市民の主体性を尊重した疾病予防・健康増進である市民主導型の健康生成をめざす試みは、時代に即したものと高く評価できる。さらに、現在の社会的課題である先進医療、病との共生、社会構造のひずみによる健康上の諸問題に対する看護実践の開発研究は、社会への貢献が大きく、その実現が期待できる。</p> | | | |